



# Data Center Group

## 安全情報



バージョン 3.0

## 注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、27 ページの 付録 A「注記」に記載されている情報をお読みください。

バージョン 3、第 5 版 (2020 年 5 月)

© Copyright Lenovo 2017, 2020.

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが米国一般調達局 (GSA: General Services Administration) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

# 目次

本書の情報について . . . . .	iii	S031 . . . . .	12
<b>第 1 章 . 安全に関する注意書き</b>		S032 . . . . .	12
<b>(S001-S041) . . . . .</b>	<b>1</b>	S033 . . . . .	13
S001 . . . . .	1	S034 . . . . .	13
S002 . . . . .	2	S035 . . . . .	13
S003 . . . . .	2	S036 . . . . .	13
S004 . . . . .	2	S037 . . . . .	14
S005 . . . . .	3	S038 . . . . .	14
S006 . . . . .	3	S039 . . . . .	14
S007 . . . . .	3	S040 . . . . .	14
S008 . . . . .	4	S041 . . . . .	15
S009 . . . . .	4	<b>第 2 章 . 安全に関する注意書き</b>	
S010 . . . . .	4	<b>(R001-R009) . . . . .</b>	<b>17</b>
S011 . . . . .	4	R001 . . . . .	17
S012 . . . . .	5	R002 . . . . .	17
S013 . . . . .	5	R003 . . . . .	18
S014 . . . . .	5	R004 . . . . .	18
S015 . . . . .	5	R005 . . . . .	19
S016 . . . . .	6	R006 . . . . .	19
S017 . . . . .	6	R007 . . . . .	20
S018 . . . . .	6	R008 . . . . .	20
S019 . . . . .	7	R009 . . . . .	21
S020 . . . . .	7	<b>第 3 章 . 安全に関する注意書き</b>	
S021 . . . . .	7	<b>(I001-I002) . . . . .</b>	<b>23</b>
S022 . . . . .	8	I001 . . . . .	23
S023 . . . . .	8	I002 . . . . .	23
S024 . . . . .	9	<b>第 4 章 . 安全ラベル . . . . .</b>	<b>25</b>
S025 . . . . .	9	<b>付録 A . 注記 . . . . .</b>	<b>27</b>
S026 . . . . .	9	商標 . . . . .	27
S027 . . . . .	10		
S028 . . . . .	10		
S029 . . . . .	11		
S030 . . . . .	12		



---

## 本書の情報について

注：2017年7月以前に購入した Lenovo System x および System Storage 製品については、を参照してください。

[http://systemx.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.sysx.safety.doc/safety\\_page.html](http://systemx.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.sysx.safety.doc/safety_page.html).

この「*Data Center Group 安全情報、バージョン2*」情報には、Lenovo Data Center Group (DCG) 製品資料に表示されている可能性がある安全に関する注意書きおよび安全ラベルが記載されています。

**重要：**製品を取り付ける前に、本書の安全情報、およびご使用の Lenovo DCG 製品に固有の安全情報が追加で提供されている場合はそれをよく読んで理解してください。

安全に関する注意書きには、Lenovo DCG システム、システム・ラック、および他のコンポーネント用の危険性および注意の注記が記載されています。

- **危険**は、人間に対して致命的、有害、または危険な可能性のある状況に対する注意喚起です。
- **注意**は、既存の条件で人体に危険が及ぶ可能性がある状況に対する注意喚起です。

安全ラベルは、通常製品またはコンポーネントに直接貼付され、潜在的な危険性について警告します。

「*Data Center Group 安全情報、バージョン2*」情報は複数の言語で用意されており、ほとんどの場合は Web ブラウザーで設定された言語で表示されます。

安全に関する注意書きは3つのグループに分かれており、Lenovo DCG 製品資料に常に使用される ID が割り当てられています。これを使用して、安全に関する注意書きをさまざまな言語バージョンの「*Data Center Group 安全情報、バージョン2*」資料の同じ注意書きと相互参照できます。グループと ID の範囲は次のとおりです。

- **注意書き S001-S041:** 一般的な安全に関する注意書きです。
- **注意書き R001-R009:** ラック・エンクロージャーに取り付ける製品に適用される安全に関する注意書きです。
- **注意書き I001-I002:** ラック・インフラストラクチャー製品 (たとえば PDU や UPS オプション) に適用される安全に関する注意書きです。



## 第 1 章 安全に関する注意書き (S001-S041)

このセクションには、ご使用の Lenovo 製品資料に記載されている可能性がある全般的な安全に関する注意書きが含まれています。安全に関する注意書きは、人間に対して致命的、有害、または危険な可能性のある状況に対する注意喚起です。

S001

S001



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。  
感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨中にケーブルの接続および切り離し、本製品の設置、保守、再構成は行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置を正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、デバイスのカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. デバイスの電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルをデバイスから取り外します。

---

## S002

### S002



#### 警告：

装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには2本以上の電源コードが使われている場合があります。デバイスから完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。

---

## S003

### S003



#### 警告：

もし電源コードをデバイス側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの電源側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

---

## S004

### S004



#### 警告：

リチウム・バッテリーを交換する場合は、Lenovo 指定の部品番号またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。次のことはしなさいでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100° C (212° F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。



---

## S005

### S005



**警告：**

バッテリーはリチウム・イオン・バッテリーです。爆発を避けるために、バッテリーを焼却しないでください。バッテリーは、推奨されたものとのみ交換してください。バッテリーをリサイクルまたは廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

---

## S006

### S006



**警告：**

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー・デバイス、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。このデバイスの内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。

---

## S007

### S007



**警告：**

この製品には、クラス 1M のレーザーが含まれています。光学機器を直接覗き込まないでください。

---

S008

S008



 危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。  
カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

---

S009

S009



警告：  
けがを避けるため、ファンをデバイスから取り外す場合はファンのケーブルを先に外してください。

---

S010

S010



警告：  
ラックに装着されたデバイスの上には 82 kg (180 ポンド) を超えるものは置かないでください。

---

S011

S011



警告：  
鋭利な端、角、またはジョイントが近くにあります。

---

S012

S012



警告：  
高温の面が近くにあります。

---

S013

S013



 危険

分岐回路に過負荷がかかると発火や感電の危険性が生じます。このような危険を避けるためシステムが必要とする電源容量が電源回路の安全容量を超えないことを確認してください。ご使用のデバイスの電気仕様はデバイスに付属のマニュアルに記載されています。

---

S014

S014



警告：  
危険な電圧、電流、エネルギー・レベルが存在する可能性があります。ラベルが貼られている場所のカバーを外すことが許されるのはトレーニングを受けたサービス技術員だけです。

---

S015

S015



警告：  
ラックからサーバーを引き出してもラックが転倒しないようになっていることを確認してください。

---

## S016

### S016



#### 警告：

一部のアクセサリやオプション・ボードの出力が Class 2 (制限電力限界値) を超えることがあります。  
一部のアクセサリやオプション・ボードの出力が Class 2 (制限電力限界値) を超えることがあります。

---

## S017

### S017



#### 警告：

ファンの羽が近くにあります。指や体の他の部分が触れないようにしてください。

---

## S018

### S018



#### 警告：

感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- この装置は、NEC、IEC 62368-1 および IEC 60950-1、および電子機器 (オーディオ/ビデオ、情報および通信テクノロジー分野に属するもの) の安全基準に定められているように、訓練を受けた担当員のみがアクセス制限のある場所で設置および保守できます。
- 装置は正しく接地された SELV (Safety Extra Low Voltage) 電源に接続してください。SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された 2 次側の回路です。
- 分岐回路の過電流保護の定格は最低 5 A、最高 15 A の範囲です。
- 14 AWG (2.5 mm<sup>2</sup>) の銅線のみを使用し、最長 3 メーターを超えないこと。
- 配線端子ねじの締め付けトルクは 1.4 ニュートン・メーター (12 インチ・ポンド) です。
- フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。

---

## S019

### S019



**警告：**

デバイスの電源制御ボタンは、デバイスに供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには2本以上の電源コードが使われている場合があります。デバイスから完全に電気を取り除くには直流電源入力端子からすべての直流電源接続を切り離してください。

---

## S020

### S020



**警告：**

けがを避けるため装置を持ち上げる前にすべてのブレード・サーバーを取り外してください。

---

## S021

### S021



**警告：**

電源にブレードを接続すると危険な電力が印加されます。ブレードを取り付ける前に必ずブレードにカバーを再取り付けしてください。

---

## S022

### S022



警告：  
感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- この装置は、NEC、IEC 62368-1 および IEC 60950-1、および電子機器 (オーディオ/ビデオ、情報および通信テクノロジー分野に属するもの) の安全基準に定められているように、訓練を受けた担当員のみがアクセス制限のある場所で設置および保守できます。
- 装置は正しく接地された SELV (Safety Extra Low Voltage) 電源に接続してください。SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された 2 次側の回路です。
- 分岐回路の過電流保護の定格は最低 13 A、最高 15 A の範囲です。
- 16 AWG (1.3 mm<sup>2</sup>) の銅線のみを使用し、最長 3 メーターを超えないこと。
- 配線端子ねじの締め付けトルクは 1.4 ニュートン・メートル (12 インチ・ポンド) です。
- フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。

---

## S023

### S023



警告：  
ラックに装着されたデバイスの上には 50 kg (110 ポンド) を超えるものは置かないでください。

---

## S024

### S024



警告：  
感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- この装置は、NEC、IEC 62368-1 および IEC 60950-1、および電子機器 (オーディオ/ビデオ、情報および通信テクノロジー分野に属するもの) の安全基準に定められているように、訓練を受けた担当員のみがアクセス制限のある場所で設置および保守できます。
- 装置は正しく接地された SELV (Safety Extra Low Voltage) 電源に接続してください。SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された 2 次側の回路です。
- 分岐回路の過電流保護の定格は最低 12 A、最高 15 A の範囲です。
- 14 AWG (2.5 mm<sup>2</sup>) の銅線のみを使用し、最長 3 メーターを超えないこと。
- 配線端子ねじの締め付けトルクは 1.4 ニュートン・メートル (12 インチ・ポンド) です。
- フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。

---

## S025

### S025



警告：  
ラックに装着されたデバイスの上には物を置かないでください。

---

## S026

### S026



警告：  
近くに動く部品が存在します。

---

## S027

### S027



#### 警告：

この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。この接続を行う場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- この装置が DC 供給システムの接地導線に直接接続されること、または DC 供給システムの接地導線が接続されている接地端子バーあるいはバスからの接合ジャンパーに直接接続されること。
- この装置が接続されているものと同一の DC 供給回路および接地線に接続されている他の装置が設置されている場所、および DC システムの接地点が設置された場所のすぐ近くのエリア (隣接したキャビネットなど) に、この装置が配置されること。DC システムが他の場所に接地されていないこと。
- DC 供給源はこの装置と同じ建物内に設置されていること。
- DC 電源と接地電極導線の接続点とを結ぶ接地回路線の途中に、切り替え機または切断機を設置しないこと。

---

## S028

### S028



#### 警告：

感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- この装置は、NEC、IEC 62368-1 および IEC 60950-1、および電子機器 (オーディオ/ビデオ、情報および通信テクノロジー分野に属するもの) の安全基準に定められているように、訓練を受けた担当員のみがアクセス制限のある場所で設置および保守できます。
- 装置は正しく接地された SELV (Safety Extra Low Voltage) 電源に接続してください。SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された 2 次側の回路です。
- 分岐回路の過電流保護の定格は 20 A でなければなりません。
- 12 AWG (2.5 mm<sup>2</sup>) の銅線のみを使用し、最長 4.5 メーターを超えないこと。
- フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。



S029

S029



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。  
感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨中にケーブルの接続および切り離し、本製品の設置、保守、再構成は行わないでください。
- すべての電源コードは、正しく配線され接地された電源に接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置は、正しく配線された電源に接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示される場合を除き、デバイスのカバーを開く場合は、その前に、接続されている AC 電源コード、DC 電源、ネットワーク接続、通信システム、およびシリアル・ケーブルを必ず切り離してください。
- ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. 本製品に接続されるすべての電源および機器の電源をオフにします。
2. 信号ケーブルを製品に接続します。
3. 電源コードを製品に接続します。
  - AC システムの場合は、電気製品用インレットを使用します。
  - DC システムの場合、-48 V DC 接続の正しい極性であることを確認します。RTN は+で、-48 V DC は-です。アース接地には、安全のために2つ穴ラグを使用する必要があります。
4. 信号ケーブルを他のデバイスに接続します。
5. 電源コードを電源に接続します。
6. すべての電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. 本製品に接続されるすべての電源および機器の電源をオフにします。
  - AC システムの場合は、シャーシの電源コンセントからすべての電源コードを取り外すか、AC 電力配分装置で電力を遮断します。
  - DC システムの場合は、ブレーカー・パネルで DC 給電を遮断するか、電源をオフにします。その上で、DC ケーブルを取り外します。
2. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
3. すべてのケーブルをデバイスから取り外します。

---

## S030

### S030



**警告：**

けがを避けるため、装置を持ち上げる前に、すべてのブレード、電源モジュール、およびその他の取り外し可能モジュールを取り外して重量を軽くしてください。

---

## S031

### S031



**警告：**

この製品には、電源制御ボタンが備わっていません。ブレードの電源をオフにしたり、電源モジュールや I/O モジュールを取り外しても、製品へ供給される電流はオフになりません。この製品には、複数の電源コードが使用されている場合があります。製品から完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。

---

## S032

### S032



**警告：**

感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- この装置は、NEC、IEC 62368-1 および IEC 60950-1、および電子機器 (オーディオ/ビデオ、情報および通信テクノロジー分野に属するもの) の安全基準に定められているように、訓練を受けた担当員のみがアクセス制限のある場所で設置および保守できます。
- 装置は正しく接地された安全特別低電圧 (SELV) 電源に接続してください。SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生しても、その出力電圧が安全レベルの 60 V DC を超えないように設計された 2 次側の回路です。
- 分岐回路の過電流保護のために必要な回路ブレーカーの定格については、製品資料に記載の仕様を参照してください。
- 銅線のみを使用してください。必要なワイヤー・サイズについては、製品資料に記載されている仕様を参照してください。
- 配線端子ねじの締め付けトルクに必要な値については、製品資料に記載の仕様を参照してください。
- フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。

---

## S033

### S033



警告：  
危険な電力が存在します。金属とショートさせると熱を発生し、金属の飛散、やけど、またはその両方を引き起こす可能性のある危険な電力の電圧です。

---

## S034

### S034

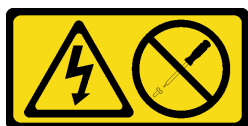


警告：  
必ずスライド保持ねじを取り付けてください。

---

## S035

### S035



警告：  
パワー・サプライまたはこのラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

---

## S036

### S036



18 ~ 32 kg (39 ~ 70 ポンド)



32 ~ 55 kg (70 ~ 121 ポンド)

警告：  
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

---

S037

S037



警告：

この部品または装置の重量は 55 kg (121.2 ポンド) 以上です。この部品または装置を安全に持ち上げるには、特別に訓練を受けた人員またはリフト装置 (あるいはその両方) が必要です。

---

S038

S038



警告：

この手順では、目を保護する防具を装着する必要があります。

---

S039

S039



警告：

この手順では、防音保護具を装着する必要があります。

---

S040

S040



警告：

この手順では、防護手袋を装着する必要があります。

---

S041

S041



警告：

- この装置は、NEC、IEC 62368-1 および IEC 60950-1、および電子機器 (オーディオ/ビデオ、情報および通信テクノロジー分野に属するもの) の安全基準に定められているように、訓練を受けた担当員のみが設置および保守できます。
- 装置へのアクセスにはツール、ロック、鍵、またはその他のセキュリティー手段を使用して行われ、その場所に責任を持つ認証機関によって制御されます。



---

## 第 2 章 安全に関する注意書き (R001-R009)

このセクションの安全に関する注意書きは、Lenovo 製品をラック・キャビネットに取り付ける際のマニュアルに記載されている場合があります。安全に関する注意書きは、人間に対して致命的、有害、または危険な可能性のある状況に対する注意喚起です。

---

### R001

#### R001



警告：

安全のため、ラック・キャビネットのすべての構成について国の安全基準に従っていることを検証するために、国の認定試験機関の認証を取得してください。このプロセスにより、通常の状態および予測可能な誤用の状態の下で、最終的な製品のオペレーターとサービス担当員に対する安全が確保されます。

---

### R002

#### R002



 危険

- ラック・キャビネットのレベル・パッドは、必ず下げてください。
- ラック・キャビネットには、必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。
- 最も重量のあるデバイスは、必ずラック・キャビネットの下部に搭載してください。
- 必ず、ラック・キャビネットの最下部からサーバーおよびオプションのデバイスを取り付けます。

---

R003

R003



 危険

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>• 一度に複数のスライド・デバイスを引き出さないでください。</li><li>• スライド・レールのデバイスの最大許容重量は 80 kg (176 ポンド) です。この重量を超えるスライド・デバイスは取り付けないでください。</li></ul> |
|--|

---

R004

R004



警告：  
デバイスの取り付けと取り外し、またはラックの再配置を行う前に、ラック資料にある説明を参照してください。



---

## R005

### R005



ラック・キャビネットに装着する際には、以下のガイドラインを順守してください。

- ラック・キャビネットのレベル・パッドは、必ず下げてください。
- ラック・キャビネットには、必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。
- 最も重量のあるデバイスは、必ずラック・キャビネットの下部に搭載してください。
- デバイスを取り付ける際は、必ずラック・キャビネットの下部から順に上の方に向かって取り付けてください。
- ラック搭載手順で指示されない限り、ラック・キャビネットから同時に複数のデバイスを引き出さないでください。複数のデバイスが保守位置に引き出されると、ラック・キャビネットが転倒するおそれがあります。
- ラック・キャビネットをしっかりと確実に固定してください。

---

## R006

### R006



警告：

ラックに装着されたデバイスを柵として使用する場合を除いて、ラックに装着されたデバイスの上にはものを置かないでください。

---

## R007

### R007



危険

- ラック・キャビネット内のデバイスの電源コードは、ラック・キャビネットの近くにあり、容易にアクセスできるコンセントに接続してください。
- 各ラック・キャビネットには2本以上の電源コードが使われている場合があります。ラック・キャビネット内のデバイスに保守を行う前に、必ずラック・キャビネットのすべての電源コードを切り離してください。
- 複数の電源装置 (電力配分装置または無停電電源装置) が同一のラック・キャビネットに取り付けられている場合は、緊急時電源オフ・スイッチを取り付けます。
- ラック・キャビネットに取り付けられているすべてのデバイスは、同じラック・キャビネットに取り付けられている電源装置に接続してください。あるラック・キャビネットに取り付けられているデバイスの電源コードを、別のラック・キャビネットに取り付けられている電源装置に接続しないでください。

---

## R008

### R008



危険

分岐回路に過負荷がかかると発火や感電の危険性が生じます。このような危険を避けるため、システムが必要とする電源容量が電源回路の安全容量を超えないことを確認してください。ご使用のデバイスの電気仕様はデバイスに付属のマニュアルに記載されています。

## R009

### R009



#### 警告：

再配置を行う場合、エンタープライズ・ラック・キャビネットの上部にあるコンポーネントから取り外すと、ラックの安定性が向上します。同じ室内または建物内で、装置を取り付けてあるラック・キャビネットを再配置する場合は、以下の一般ガイドラインに従ってください。

- ラック・キャビネットの最上部から順番に装置を取り外して、ラック・キャビネットの重量を軽減します。可能な場合は、ラック・キャビネットを受け取ったときの構成にラック・キャビネットを復元します。この構成が不明の場合は、以下の手順を実行する必要があります。
  - 32 U およびそれより上の位置にあるデバイスをすべて取り外します。
  - 最も重いデバイスは、ラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。
  - ラック・キャビネットの 32 U ポジションより下に取り付けられたデバイス間に空き U ポジションがないことを確認します。
- 再配置しようとするラック・キャビネットがラック・キャビネットのスイートの一部である場合は、該当のラック・キャビネットをそのスイートから切り離します。
- 予定している経路を点検して、潜在的な危険を取り除きます。
- 選択した経路が、装置を取り付けたラック・キャビネットの重量に対応できるかどうかを検査します。装置を取り付けたラック・キャビネットの重量については、ラック・キャビネットに付属の資料を参照してください。
- すべてのドアの開口部が少なくとも 760 x 2,030 mm (30 x 80 インチ) あることを確認します。
- すべてのデバイス、シェルフ、ドロワー、ドア、およびケーブルが保護されているか確認します。
- 4 つのレベル・パッドを一番上の位置に引き上げておいてください。
- ラック・キャビネットにスタビライザー・ブラケットが取り付けられていないことを確認します。
- 傾斜が 10 度を超えるスロープは使用しないでください。
- ラック・キャビネットを新しい場所に移動したら、以下の手順を実行します。
  - 4 つのレベル・パッドを下げます。
  - スタビライザー・ブラケットをラック・キャビネットに取り付けます。
  - ラック・キャビネットからデバイスを取り外した場合は、ラック・キャビネットの下部から上部方向へ入れ直していきます。

長距離の再配置が必要な場合は、ラック・キャビネットを納品時のラック・キャビネットの構成に復元します。ラック・キャビネットは元の梱包資材、またはそれと同等のもので梱包してください。また、レベル・パッドを下げ、キャスターをパレットから離れるように持ち上げ、ラック・キャビネットをパレットにボルトで止めます。



---

## 第 3 章 安全に関する注意書き (I001-I002)

このセクションには、ご使用の Lenovo 製品資料に記載されている可能性がある、ラック・インフラストラクチャーに関連する安全に関する注意書きが含まれています。安全に関する注意書きは、人間に対して致命的、有害、または危険な可能性のある状況に対する注意喚起です。

---

I001

I001



無停電電源装置 (UPS) ユニットには特定の有害物質が含まれています。お使いの製品に UPS が含まれている場合は、以下の注意事項に従ってください。

- UPS には危険な電圧が存在します。すべての修理とサービスは、認定されたサービス・サポート担当者のみが行う必要があります。UPS の内部にはユーザーが保守が可能な部品はありません。
- UPS には独自のエネルギー源 (バッテリー) があります。UPS が AC 電源に接続されていない場合でも、出力レセプタクルに電圧が流れている可能性があります。
- UPS の電源が入っているときは、入力コードを抜き差ししないでください。抜き差しすると、UPS と UPS に接続されている機器の安全保護用のアースが失われます。
- 必要な電子機器やバッテリーのため、UPS は重くなっています。けがを避けるため、以下の注意事項を守ってください。
  - お客様自身で UPS を持ち上げようとしないでください。他のサービス担当者に支援を依頼してください。
  - 輸送カートンから UPS を取り外したり、UPS をラックに設置または取り外したりする前に、UPS からバッテリー、電子部品、またはその両方を取り外してください。

---

I002

I002



**警告：**  
配電ユニット (PDU) コンセントは、200 ~ 240 V AC を供給します。これらのコンセントは、この電圧範囲内で動作するデバイスにのみ使用してください。






## 第 4 章 安全ラベル

Lenovo DCG 製品に表示される可能性がある安全ラベルは、次の表に説明されています。

表 1. 安全ラベル

安全ラベル	ラベルの意味
	注意。このラベルが表示されているコンポーネントで作業をする際は注意してください。
	注意 - 感電危険な電圧、電流、電力が存在します。
	感電。危険な電圧、電流、電力が存在します。このラベルが貼られたカバーまたは収納部は開けないでください。
	注意 - 感電240VA を超えるエネルギー・レベルが存在します。
	注意 - 感電アーク放電の熱の影響からの保護です。
	感電 - 製品には、複数の電源コードが備えられている場合があります。危険な電圧をすべて取り除くには、すべての電源コードを切り離してください。
	注意 - 危険な電圧、電流、エネルギー・レベルおよび高温が存在しています。
	注意 - 持ち上げる場合の重量は 18 ~ 32 kg (39 ~ 70 ポンド) です。2 人で持ち上げてください。
	注意 - 持ち上げる場合の重量は 32 ~ 55 kg (70 ~ 121 ポンド) です。3 人で持ち上げてください。

表 1. 安全ラベル (続き)

安全ラベル	ラベルの意味
	<p>注意 - 持ち上げる場合の重量は 55 ~ 100 kg (121 ~ 220 ポンド) です。持ち上げる必要がある場合はリフト機械装置を使用してください。</p>
	<p>注意 - レーザーに関する危険性</p>
	<p>注意 - ファンの羽が近くにあります。</p>
	<p>注意 - 高温の面が近くにあります。</p>
	<p>注意 - 鋭利な先端が近くにあります。</p>
	<p>注意 - 落下に関する危険性。</p>
	<p>注意 - 転倒の危険性。</p>
	<p>注意 - ラックに装着されたデバイスの上には物を置かないでください。</p>
	<p>重要 - 目を保護する防具を使用してください。</p>
	<p>重要 - 防音保護具を使用してください。</p>
	<p>注意 - 防護手袋を使用してください。</p>



---

## 付録 A 注記

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.  
1009 Think Place - Building One  
Morrisville, NC 27560  
U.S.A.  
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務を負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

---

## 商標

LENOVO および THINKSYSTEM は Lenovo の商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の知的財産です。





部品番号: SP47A34716

Printed in China

(1P) P/N: SP47A34716

